



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月28日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東  
 コード番号 7309 URL https://www.shimano.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 廣瀬 充康 (TEL) 072-223-3254  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	76,920	△12.3	12,658	△22.3	23,340	61.8	19,663	95.6
2019年12月期第1四半期	87,714	2.9	16,285	△3.8	14,421	△6.7	10,050	△6.9

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 479百万円(△96.4%) 2019年12月期第1四半期13,386百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	212.12	—
2019年12月期第1四半期	108.42	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	532,212	482,529	90.6
2019年12月期	538,769	489,236	90.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 482,380百万円 2019年12月期 489,084百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	77.50	—	77.50	155.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	77.50	—	77.50	155.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。なお、業績予想の開示につきましては、可能となった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 1 Q	92,720,000株	2019年12月期	92,720,000株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年12月期 1 Q	19,417株	2019年12月期	19,272株
---------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期 1 Q	92,700,633株	2019年12月期 1 Q	92,701,539株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、世界的な新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大を受け、欧州では、各国で移動制限や閉店措置など企業活動の大規模な制限、それに伴う個人消費の急激な退潮により景気は大きく落ち込むこととなりました。米国では、3月に新型コロナウイルス感染者の増大を受け行動制限措置がとられ、良好であった雇用・所得環境が急激に悪化し、個人消費の下押しが懸念されるなど景気の先行きに対する不透明感が強まりました。日本では、新型コロナウイルス対策としての外出自粛要請により個人消費が下振れし、景気後退の懸念が強まりました。

当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりの中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしております。

結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は76,920百万円(前年同期比12.3%減)、営業利益は12,658百万円(前年同期比22.3%減)、為替差益の計上等により、経常利益は23,340百万円(前年同期比61.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19,663百万円(前年同期比95.6%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 自転車部品

欧州市場では、年始からの暖冬もあり完成車の店頭販売は電動アシスト車を中心に好調を維持していましたが、3月後半から新型コロナウイルスの影響を受けて急激に鈍化し、市場在庫は急速に高まりました。

北米市場では、天候に恵まれ好調に推移していた完成車店頭販売が、3月に入り新型コロナウイルスの感染拡大を受け急激に減速し、市場在庫は高い水準となりました。

中国市場では、新型コロナウイルス蔓延の影響で店頭販売は低迷しました。一方、市場在庫は概ね適正に推移しました。

南米市場について、ブラジル市場は政情不安等による店頭販売の停滞から回復基調であったものの、3月後半に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け急速に鈍化しました。通貨安が続くアルゼンチン市場は低迷が続きました。

日本市場では、通勤通学用軽快車と中高級スポーツバイクの店頭販売は低調に終わりましたが、電動アシスト車は引き続き好調を維持しました。市場在庫は概ね適性水準を維持しました。

このような市況のもと、高級マウンテンバイクコンポーネントの「Deore XT」や「SLX」、グラベル・アドベンチャーコンポーネント「GRX」が好評を得ました。また、電動アシストスポーツバイクコンポーネント「SHIMANO STEPS」も高い評価を得ました。

この結果、当セグメントの売上高は58,868百万円(前年同期比15.4%減)、営業利益は10,298百万円(前年同期比26.1%減)となりました。

#### ② 釣具

日本市場では、年初からの暖冬と安定した天候によりファミリー層の需要が喚起され小売店の販売は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルスの影響で3月に入り消費者マインドは低下しました。

海外市場において、北米市場では、昨年末から好調であった販売は、3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大を受け各州で外出制限等規制が敷かれ、一気に低調なものとなりました。欧州市場では、年初は各主要マーケットにおける販売は好調に推移していましたが、3月に入り新型コロナウイルスの影響から販売は大きく減退しました。アジア市場では、中国では新型コロナウイルスによる混乱がやや落ち着きを見せ、販売は堅調さを取り戻しつつあるものの、その他の国では販売は低調に推移しました。豪州市場では、森林火災や洪水被害に加えて新型コロナウイルス感染拡大の影響により販売は低調に終わりました。

このような市況のもと、日本市場では、「Metanium」、「TWIN POWER」等の新製品や普及価格帯の商品の販売が継続して堅調で、売上は前年を上回りました。また、海外市場では、新型コロナウイルスによる影響が大きく、売上は前年を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は17,976百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は2,391百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

#### ③ その他

当セグメントの売上高は75百万円(前年同期比2.6%減)、営業損失は30百万円(前年同期は営業損失5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は532,212百万円(前連結会計年度比6,557百万円の減少)となりました。これは、建物及び構築物15,493百万円増加し、現金及び預金が15,712百万円、建設仮勘定が7,715百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は49,683百万円(前連結会計年度比149百万円の増加)となりました。これは、短期借入金が4,526百万円増加し、未払法人税等が2,945百万円、買掛金が1,233百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は482,529百万円(前連結会計年度比6,707百万円の減少)となりました。これは、利益剰余金が12,479百万円増加し、為替換算調整勘定が17,442百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、国内外の経済活動への影響が広がっています。

当社グループを取り巻く経営環境としましても、海外生産拠点における生産活動の部分的停止、販売先各国の政府による店頭販売や移動に対する制限等により、企業活動への影響が発生しております。

これらの影響度合いが引き続き不透明な状況であることから、現段階では合理的な業績予想の算定を行うことが困難な状況であります。そのため、2020年2月12日に公表した業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただくことにしました。

なお、業績予想の開示につきましては、可能となった時点で改めて公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	270,070	254,357
受取手形及び売掛金	36,192	34,343
商品及び製品	39,904	43,036
仕掛品	23,874	24,372
原材料及び貯蔵品	5,156	5,016
その他	6,336	8,091
貸倒引当金	△345	△358
流動資産合計	381,189	368,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,211	70,705
機械装置及び運搬具(純額)	21,615	20,610
土地	13,575	13,385
リース資産(純額)	3,239	3,300
建設仮勘定	25,457	17,742
その他(純額)	5,612	5,626
有形固定資産合計	124,712	131,371
無形固定資産		
のれん	3,886	3,738
ソフトウェア	5,562	5,514
その他	4,160	4,856
無形固定資産合計	13,610	14,109
投資その他の資産		
投資有価証券	12,328	9,774
繰延税金資産	5,337	5,890
その他	2,147	2,759
貸倒引当金	△555	△552
投資その他の資産合計	19,257	17,872
固定資産合計	157,580	163,353
資産合計	538,769	532,212

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,529	12,296
短期借入金	3,167	7,693
未払法人税等	7,046	4,101
賞与引当金	2,183	2,077
役員賞与引当金	161	39
火災損失引当金	10	—
その他	17,501	17,458
流動負債合計	43,599	43,666
固定負債		
長期借入金	1	1
繰延税金負債	1,005	1,450
退職給付に係る負債	3,220	2,963
その他	1,706	1,600
固定負債合計	5,933	6,016
負債合計	49,533	49,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,642	5,642
利益剰余金	448,941	461,420
自己株式	△135	△137
株主資本合計	490,061	502,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,687	949
為替換算調整勘定	△3,663	△21,106
その他の包括利益累計額合計	△976	△20,157
非支配株主持分	151	148
純資産合計	489,236	482,529
負債純資産合計	538,769	532,212

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	87,714	76,920
売上原価	53,787	47,006
売上総利益	33,926	29,913
販売費及び一般管理費	17,641	17,254
営業利益	16,285	12,658
営業外収益		
受取利息	1,068	874
受取配当金	80	63
為替差益	—	10,074
その他	280	225
営業外収益合計	1,429	11,239
営業外費用		
支払利息	22	32
寄付金	713	10
為替差損	2,359	—
固定資産除却損	42	458
その他	156	56
営業外費用合計	3,293	558
経常利益	14,421	23,340
特別損失		
工場建替関連費用	4	100
火災損失	200	—
特別損失合計	205	100
税金等調整前四半期純利益	14,216	23,239
法人税、住民税及び事業税	4,894	2,916
法人税等調整額	△731	655
法人税等合計	4,162	3,572
四半期純利益	10,054	19,667
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,050	19,663

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	10,054	19,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	△1,738
為替換算調整勘定	3,414	△17,449
その他の包括利益合計	3,332	△19,187
四半期包括利益	13,386	479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,384	482
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△2

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,603	18,032	77	87,714	—	87,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	69,603	18,032	77	87,714	—	87,714
セグメント利益又は損失(△)	13,926	2,364	△5	16,285	—	16,285

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,868	17,976	75	76,920	—	76,920
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	58,868	17,976	75	76,920	—	76,920
セグメント利益又は損失(△)	10,298	2,391	△30	12,658	—	12,658

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。